

公開講座

11/2(日) 13:00~16:00
工学部17号棟113講義室

未来を拓く半導体材料のイノベーション ～ナノサイエンス学科の研究紹介～

ナノ
サイエンス
学科

近年実用化が進む有機半導体材料と、次世代の半導体素子として利用が期待されるナノカーボン材料の2つの分野について、それぞれの分野の第一人者が解説します。

13:00~14:20

石井 久夫

有機分子を光らせるサイエンスとテクノロジー：量子化学から有機ELディスプレイまで

電気を流して有機分子を光らせる「有機EL素子」は、携帯電話のディスプレイなどで活用され、テレビ、照明などへの応用も進められています。いくつかの演示実験をまじえながら、有機分子の量子力学の初歩を講義し、「どのようにして有機ELが光るのか」を研究動向を含めて解説します。

14:40~16:00

青木 伸之

「エレクトロニクス材料の変遷：シリコンテクノロジーの限界とナノカーボンへの期待

エレクトロニクスの発展はシリコンを中心とした微細化技術に支えられてきましたが、近い将来に限界を迎えようとしています。次世代のエレクトロニクス材料として期待されるナノカーボン材料について、その特徴と最新の研究動向について紹介していきます。

模擬講義

11/2(日) 11:30~13:30
工学部9号棟107講義室

11:30~12:00 体験を通して学ぶデザイン

寺内 文雄

デザイン
学科

製品を構成する様々な材料を対象に、それらの特性を「体験しながら学ぶ」形式で講義を行います。体験したことに基づいて、それらの材料を用いたデザインの具体的な方法について考えてみます。

13:00~13:30 マイクロ流路を利用した、ミクロの世界のものづくり

山田 真澄

共生応用
化学科

髪の毛よりもずっと細いマイクロ流路構造を用いると、顕微鏡でしか見えない小さい世界の、面白くて役に立つ材料を作り出すことができます。細胞を育てるためのマイクロゼリー、化学反応を行うマイクロ流路、生命体のように動くソフトマテリアルなど、最新の研究例を紹介いたします。

2014.11.1 (Sat) ~11.2(Sun)

第52回

千葉大学

工学部祭



於：千葉大学西千葉キャンパス

<http://www.eng.chiba-u.jp>